

小企画展 みなもをめぐる 2023年5月30日（火）～2023年7月23日（日）

本展では、当館が所蔵する水と結びつきのある作品群の中から、水の表面を意味する「みなも」に焦点を当て、3つのテーマでご紹介します。

会場内のいろいろな「みなも」をめぐりながら、水の表現に投影された心情や美しさ、表現技巧など、幅広い視点で鑑賞をお楽しみいただくと幸いです。

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質・技法
第1章 生活をめぐる					
1	わだ えいさく 和田 英作	赤い燐寸	1914	80.3×65.2	油彩・キャンバス
2	にしぞの かずお 西園 和生	シャルトルの河	1965	73.0×91.2	油彩・キャンバス
3	えびはら きのすけ 海老原 喜之助	泉の広場（レリーフ）	1936	37.0×31.0	陶彫
4	わだ えいさく 和田 英作	公園風景	1903	33.0×46.0	油彩・キャンバス
5	ゆたか せんり 豊 千里	いこい	1969	72.7×100.0	水彩・紙
6	いわや ささなみ 巖谷 小波	寄書茶碗	20C前半	高6.0口径11.8底径5.0	陶器
7	かとう せい 加藤 静児	川釣	1933	27.0×24.0	水彩・絹
8	おおくぼ さくじろう 大久保 作次郎	睡蓮	1938	19.0×24.5	油彩・キャンバス
9	はしぐち ごよう 橋口 五葉	温泉宿の女（下絵）	1920	58.4×33.1	墨、水彩・紙
10	はしぐち ごよう 橋口 五葉	『乗合船』（泉鏡花著）表紙刷見本	1913	23.3×33.5	木版・紙
11	しの かつふみ 穴野 勝文	夕映の港	1978	130.0×192.0	油彩・キャンバス
12	とめおか あきら 留岡 彬	月明桜島	1977	91.0×60.6	油彩・キャンバス
13	えびはら きのすけ 海老原 喜之助	貨物船とヨット	1929	73.0×100.3	油彩・キャンバス
第2章 水景をめぐる					
14	かみいしだ てつお 上石田 哲夫	尾道小春日和	1990	162.1×130.3	油彩・キャンバス
15	ふじしま たけじ 藤島 武二	鳥羽の日の出	1931	72.6×100.0	油彩・キャンバス
16	ふじしま たけじ 藤島 武二	台湾の船	1933	16.1×23.4	パステル・紙
17	こおりやまさぶろう 郡山 三郎	河口湖	1954	53.5×33.0	油彩・キャンバス
18	やまぐち たけお 山口 長男	保田海岸	1966	32.0×41.0	油彩・キャンバス
19	とこなみ まさよし 床次 正精	富士	不詳	53.7×80.7	油彩・キャンバス
20	かわばた まさみつ 川幡 正光	桜島	1967	91.6×116.9	油彩・キャンバス
21	はしぐち ごよう 橋口 五葉	京都三条大橋	1920	28.0×44.3	木版・紙
22	くろだ せい 黒田 清輝	海辺（稲村ヶ崎）	1913-14	16.3×34.8	油彩・板
23	たにぐち ごじ 谷口 午二	湯田玉の湯	1961	36.5×53.0	鉛筆、水彩・紙
24	えびはら きのすけ 海老原 喜之助	人吉風景	1945~50頃	29.3×38.4	油彩・板
25	はしぐち やすお 橋口 康雄	ホンコン港	1932	27.9×36.9	鉛筆、水彩・紙
第3章 様式・意匠をめぐる					
26	ふしろう 不詳	琉人御召舟之図	1978	86.1×324.5	紙本着色・巻物
27	きむら たげん 木村 探元	雪景山水図	1748	98.5×165.5	紙本墨画・軸装
28	のせ いっせい 能勢 一清	楼閣山水図	1828	137.8×72.1	紙本墨画・軸装
29	こばやし ようけん 小林 養建	騎龍人物図	不詳	113.0×54.0	紙本墨画淡彩・軸装
30	ふしろう 不詳	白薩摩宋胡録写水甕	17C前期	高28.0口径30.4底径34.0	陶器
31	みやのほら けん 宮之原 謙	象嵌磁白盛「瀬」鉢	1951	高31.5口径17.0	陶器
32	みつだ てんみん 満田 天民	流れ	1981	91.0×116.7	紙本着彩・額装